

アジャイルと品質会計

- アジリティを高めて、バグの少ないソフトウェアを開発する取り組み -

誉田 直美 †1

日本におけるアジャイル開発の適用はまだまだ途上の段階にある。日本でアジャイル開発の適用が拡大しない大きな理由の一つは、品質確保への懸念である。NECでは、ウォーターフォールモデル向けの品質管理技法として、「品質会計」という独自の技法を考案し、開発するソフトウェアの品質確保に取り組んできた。品質会計で得た品質確保の3つの知見（①レビューでのバグ抽出による早期品質確保、②的確なテスト完了判断、③品質会計を軸とした全体的な仕組みによる品質確保）をアジャイル開発へ応用することにより、アジャイル開発においてもバグの少ないソフトウェアを確実に開発するしくみを実現した。本講演では、品質会計のエッセンスを取り込んで構築した NEC アジャイルとその適用結果を紹介する。

†1 日本電気株式会社
NEC corporation